見直そう芦高

―芦高あれこれ―

満開の桜も、四月の射るような日の光の中、青々とした葉桜に変わってゆくうちに、新入生のみなさんの芦高生活も早や一カ月。気持ちもやっと余裕ができた頃でしょう。三年間の高校生活のよいスタートの為に、芦高をチョッピリですが紹介します。

創立記念日

本校芦屋高等学校は、四十五年前の昭和十五年に旧制芦屋中学として創設されました。戦争が相い次いだ時期、校舎建設計画が無期延期され兵庫県精道村岩園尋常小学校校舎内に間借りして普通教室七室を有し、全校生徒は口答試験を経た生徒二百五十人で授業が開始した。

当時の様子が芦高二十年史にも見られ、その中に、「私たち職員は、とにかく神戸一中に対抗せねばならない。神戸一中に負けない学校にしよう。これが当時の目標でした。教育はこの目標に向かって一致協力していました。設備の不備と一・二回生には相すまぬ言い方だが二級品の粒の悪さを人の和と鍛練で補っていこう。」という当時の職員の方の言葉がありますが、この為、芦中は徹底したスパルタ教育で知られていました。

しかし、本居地を持たぬ悲しさ、都合五回程の流転を（旧岩園小⇒打出仮校舎（戦災）⇒宮川小・海技専門学校⇒本山小⇒芦屋実業学校（三部授業実施）⇒現校地）続け創立から七年もの間自分の校地と校舎を持つに至りませんでした。

その上、戦火に校舎を失った為、戦後文部省から新制高校の認可が下り、廃校の可能性のあった芦校が昭和二十三年に新制高校として出発したその喜びがいまでも記念祭、数々の歌として今も芦高に残っています。正に芦校復興（ルネサンス）の年なのでした。

定期戦

五月の連休も間近なある晴れた日（晴れてない事も多いけれど）ここに迎える定期戦。対戦相手は御存知県西ここと県立西宮高校の血潮みなぎる運動部諸君です。

緑葉萌ゆる西宮市民グラウンドに希望に燃える両校の学徒にこそって集いあうユニフォーム姿の運動部、土手の上から見守って、年に一度の悔いる時、互いにかわす激励は乾く間もなし「へのカッパ――――。」

試合のない生徒は、体育館・テニスコート・格技場・グラウンドへと散ってゆくのです。マイムマイムはないけれど県芦高永久にあれ――。

定期考査

試験が近づくとやはりみんなの目つきが変わってきます。高校の勉強は、言うまでもなく中学の時と違うので高校生としてそれなりの勉強をしなければなりません。とは言うものの、部活との両立は初めはかなりしんどい様です。だから、試験の前にあせらない様にするには、やはり普段の勉強をコツコツとやっておくことです。これが後々自分の役に立つのです。が、これが大方の生徒には決して実行できない所に、高校生活が哲学的思索の場と言われる所以があるのです。よって〝一夜漬け〟という学生最高の醍醐味を味わうことができます。そしてそれができた人の試験の出来は目にみえています。試験当日、徹夜で幻覚が浮かんでは消えてゆく。眠い目をこすり、そしてすでにテストが配られている机に座り、10分間ほど見たこともないような問題にみとれ、やっと自分の名前とクラス、出席番号を書き始める……。などというようなことがないように、実力考査で死んだ同志よ！中間こそは頑張ろう。

球技大会について

テスト終了後、我が芦高では球技大会が開かれる。

皆、試験でのうっぷんを晴らすかの様に燃えまくるので、応援する方もつい力が入り、これでクラスも一段と親密になると言える。

一学期あるいは二学期で種目は異なるが、女子はたいがいバスケかバレー、男子は、サッカー、ラグビーといったものである。女子は雨天の場合、体育館に於いて行なわれるが男子はそうはいかないので皆、雨と汗とにまみれて、力闘する。

＊　＊　＊　＊

しかし、男性諸君にはこれを機会に女子の声援に応えて、自らを売り込むのにはうってつけの場とも言えよう。それに、一回戦負けともなると、それだけ休みが長くなる分で、半分早く負けて欲しい等の気持ちで臨んでいるクラスも多いかと思われるが、いざ勝利を得ると貧をねらわずにはいられなくなるのが、この球技大会である。

野外活動

1年生のみなさんは、夏休みの8月上旬に、2泊3日で大山に行きます。この野外活動は、普段見ることのできない大自然の中で、みんなと協力しながら過ごす楽しさを味わう絶好の行事です。

大山までの距離は、時間にしてみると約6時間でたいへん遠く感じますが、いざバスに乗ってワイワイと騒いでいるうちに、あっという間に着いちゃいますから、バス酔いする人も大丈夫ですよ。

向こうに着いたらまずはカレー作り。煙に涙を流し色々苦労しますが、その分出来上がったカレーの味はなんとも言えずおいしいものです。

夜にはキャンプファイヤーやテントでのおしゃべり、きもだめしなど楽しい事がいっぱい！でも夜深しは翌日の登山にもこたえるので気をつけましょー。

2日めは野活のメインでもある恐怖の大山登山。頂上までの間に何度止めてしまおうと思うことか…。でも汗はびっしょり体もクタクタでたどり着いた頂上の風は、なんとも気持ちのよいもので、実に充実感があります。

この様に野活では、色々な体験によって得る事がいっぱい！みなさん、ぜひとも楽しい思い出をつくってきて下さいネ。

＊　＊　＊　＊

記念祭

毎年、九月下旬から十月上旬にかけて、記念祭というものが行われるのです。早い話が体育祭と文化祭を合わせたようなものなんですが。近年、一日減らそうという案もありますが、五日間に渡って行われます。

体育祭では、種目は一般的なものですが、応援が派手なのです。前日に、半日かけて各クラスごとの座席をつくり、そのバックにはペニヤ六枚を使って大きな絵を書くのです。その絵と言えば、漫画、スター、雑誌で見たことのある絵など、自由に描けるのです。

そして生徒を見てみると、ピンク、ブルー、金、銀などのやたら派手なユニフォーム。一考の価値はありそうです。それともう一つ、百メートル、二百メートル競争でもオープンコースなので、肘で相手をブロックした者が勝利をつかむシステムです。

明けて次の日は文化部公演。ルナ・ホールで行われるのですが、全学年入れないので、一般生徒は半分しか見れません。でもプログラムによっては、思い切り盛り上がりますので、結構期待できる日なのです。

次にと言えば自治会展示です。これはクラス展示なんですが、模擬店と、テレビ番組を真似したものが見られるのです。

文化部展示では、記念祭のみに燃えている各部が、一年間の全てをこの日にかけて、展示をするのです。毎年一番人気の無いこの文化部展示ですが、今年は何を見せてくれるのでしょうか。

そして閉幕祭。ファイヤーストームを囲んでのフォークダンス。楽しく踊る人と、寂しく周りにたむろする人々。ひきこもごもの人生模様が展開されます。

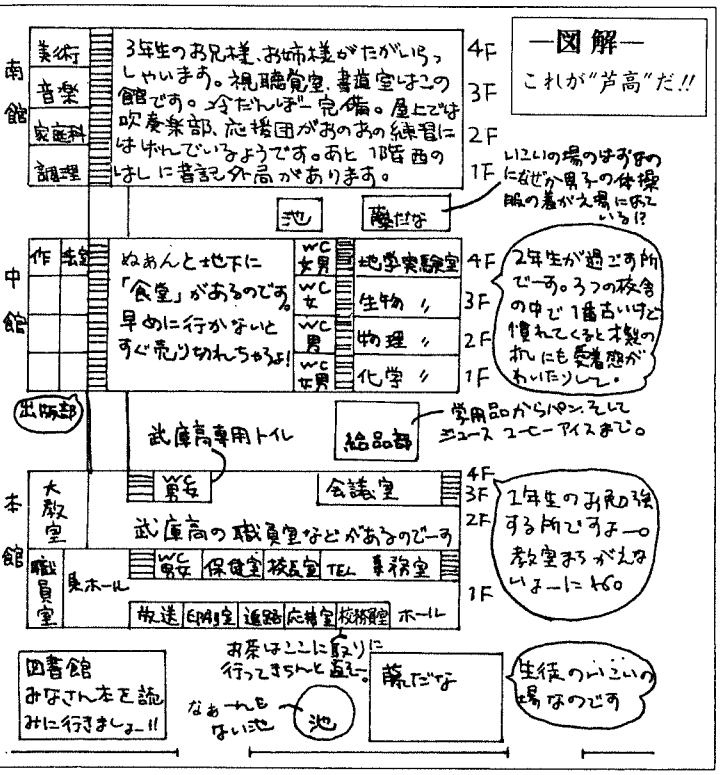
最後に、なぜ記念祭と言うのかというと、昭和二十三年、芦屋高校に変わったのを記念して、記念祭ができたのです。近年は、ただの遊びのようになっていますう。今年こそ変わるでしょうか。

全校マラソン

毎年一月下旬に共通一次試験が行われますが、その間に我が校では全校マラソン大会があります。芦屋川の松浜公園からスタートして、海岸沿いに走って、シーサイドタウンの周りを男子11km、女子5kmを学年別に走るんです。

当日、マラソンコースは全面的に車輌が通行規制されて、警察まで登場してなかなか派手な大会になります。女子にとって5kmはしんどいと思うけど、男子の11kmは死ぬほど苦しいから、今年初めて走る一年生は覚悟していてほしいですね。当日走らなくても、どうせ一週間後には芦屋川を走らされるんだから、当日に走っておいた方が良いですよ。10位までは、終わってから表彰されます。

出版部
新入部員募集中
燃える男・女!!
212号教室まで



発行所
県立芦屋高等学校
出版部
兵庫県芦屋市宮川町6-3
TEL 0797―32―2325

発行責任者　西村幸也
―編集員―
戸城(2)　金澤(副)　富永(2)
四宮(副)　鈴木(2)　田方(2)
大田(2)　高橋(2)
小林(2)　松笠(2)
平山(2)　井上(2)
助野(2)　川嶋(2)
森　(2)　信岡(2)

裏表独語

▼口で言う程、「友達」は楽なもんじゃない。いうなら「お荷物」だ。――なんて苦情が出てきそうな意見であるが実際、そういう状態になりつつあるのは認めざるを得ない。受験戦争はまるでエリートコースの争奪戦である。そうなると友達はライバルなどと平気で言いのけてしまう子供までですくる。すごく悲しい事だと思う。友達を単なる暇の相手としてつき合いたくはない。友達は一生の糧であるはずなのに…。新学期にあえて考えてみたいと思う。友達と友人の違いと、本当の意味での友人のことを。仲がいいのが友人などと誤解しないでほしい、友人ならばきっと自分を理解してくれるはずだから。

▼「聞いて、Aさんたちテスト終了のベルが鳴り終わっても、まだテストやってるのよ」Aさんの近くの席だったBさんが、私達に耳うちしてきた。その時はBさんと私達だけで、クラス全体の問題にならなかった。

二・三日後、テストが返された時、私達にショックだったのは、そのAさんがクラスで最高ということだった。誰からともなく噂が流れ、今まで仲のよかった友達までがAさんから離れていってしまった。しかしAさんの行為については、正直なところ誰にも分からなかったのである。

▼こんなに意図も簡単に離れるほど友人とは軽いものだったのか。これは例ではあるが、身近にこんな事がないとも言いきれない。人を信じることが出来ない人が増えているのも事実である。これからの友人関係には、友人とはもろく壊れやすい事をふまえなければならないのだろうか。

（綾部と亜久魔）

新任の先生方

①担当教科②前任校③出身校④これからの抱負⑤自分の性格と血液型

赤松　良二先生

①保健体育
②篠山産業高校
③福岡大学
④全生徒および全職員のスポーツ活動の促進と芦高サッカー部の成績向上を目指す
⑤O（オウ）雑把でO（オウ）らかなO型

山本　ゆみ先生

①理科
②なし
③神戸大学

永山　茂彦先生

①数学
②なし
③兵庫教育大学大学院
④数学は、理解できれば、一番楽しい教科です。興味を深める授業を目標に、共々頑張っていこうと思います
⑤陽気、気長、慎重派

枝並　成子先生

①英語
②なし
③関西学院大学

布施由紀子先生

①英語
②県立長田高校
③大阪外国語大学
④教壇へは数年振りのカムバックとなります。教科の指導を通じて皆さんと共に学び、フレッシュな若さを吸収したいと思います。
⑤一言で言うのが難しいので見てのお楽しみ…？。ごく普通のオバサンです。
O型　RH+

尾本　義温先生

①英語
②なし
③関西学院大学
④私は身分上講師ということなので、学校にいる時間は少ないと思いますが、出来る限り君達の相談相手になれればよいと考えています。自宅も近所にありますのでその点では都合がよいと思います。英語に関しては教師一年生ということで君達と一緒になって学ばなければならないことも多いと思います。この機会にやり直しの英語をと考えている生徒はぜひ相談に来ていただきたいと思います。
⑤自分の性格は一般的なA型だと思って下さい。「人に迷惑をかけるな」と「Mastery for service.」が私のモットーです。
A型

湯谷　洋先生（数学）

守安　正夫先生（社会）

阿美　好香さん（事務）

加藤　巡一先生（理科）

芦高生として

芦高というものを築き上げてきた。

近年、芦高の堕落が叫ばれているが、はたしてそうだろうか。確かに、そうじゃはかなりあらくなってきており、月に一・二回、大掃除をしなくてはいけなくなっている。そして、三学期に中間テストを行うという強行スケジュールをとらなければ、勉強しないと嘆く人もいる。しかしまだまだ行くためには、常に前進しなければならない。守りに入ると息苦しいだけである。掃除でも毎日きちんとすれば、大掃除も減るだろう。記念祭でも、自治会に任せきりでなく、一般生徒からの新しいアイディアが一日減らすという意見を海の底へ沈めてしまうだろう。もう伝統を食いつぶす時代は終わった。新しい伝統を積み重ねなければいけない。もっと芦高生として自覚と誇りをもって勤かなければならない。

（出版野郎）

部説

芦高の建っている場所は教育の場としては決して恵まれているとはいえない。日本一の公害道路、国道四十三号線と阪神電車に挟まれて、騒音と排気ガスに埋没している。周辺は民家に囲まれ、応援団の太鼓の音がうるさいと、芦屋市役所公害課から、苦情が来たそうである。つまり鳴り物を使う部は、練習さえ難しくなってきたのである。そんな中で四十五年の歴史を積み重ね、伝統と決められている学校では珍しいのではないだろうか。つまり、まだまだ他の学校とは違う、特徴ある学校なのである。この学校を将来まで残して行くべきではないだろうか。

離任の先生方

県立長田高校へ
池本勇夫先生
①数学
②58年度県芦講師、県東神戸4年→県神戸14年→県御影13年（講師2年）→滝川1年
③旧制（戦前）日本大学工学機械工学科陸軍技術部依託学生、陸軍兵技中尉として
④健康で、終生、事例法（人間関係の訓練）を広めること。青少年赤十字を育てる。
⑤自制心は人一倍強い。（セルフコントロール）と思っている。ただし、「江戸の仇を長崎で討つ」ような陰険さ〝おしん〟のような辛抱強さがある。根暗だが根明にみせる。
B型（献血23回）

御退職
守安　正夫先生（社会）

県立明石高校へ
竹中信哉先生（英語）
城崎郡竹野中学校へ
尾坂伊知郎先生（英語）
飾西高等学校へ
片山　剛先生（国語）
御退職
谷川俊郎先生（理科）
御退職
中野洋子先生（体育）
御退職

教育研修所へ
加藤　巡一先生（理科）

出版部

新入部員募集中
燃える男・女!!
212号教室まで

芳倉久美子さん
病気御療養中の為、アンケートできませんでした。

60年度 大学合格状況

（　）は浪人

（国立大学）▼岩手大1▼富山医科歯科大（1）▼静岡大（2）▼名古屋大1▼滋賀大（1）▼京都大（2）▼京都教育大1▼大阪大2▼大阪教育大3▼神戸商船大1（1）▼鳥取大（2）▼島根大1▼岡山大（1）▼広島大（1）▼山口大（1）▼九州大1▼大分大1▼熊本大（1）▼琉球大（1）

計11名（21名）

（公立大学）▼高崎経済大1（1）▼横浜市立大（1）▼都留文科大（1）▼名古屋市立大（1）▼京都市立芸大2（1）▼京都府立大1（1）▼大阪女子大1▼大阪市立大1（1）▼大阪府立大1（3）▼神戸商科大1（2）▼姫路工業大2▼下関市立大（1）

計9名（13名）

（国公立短大）▼神大医療技短大2▼東京都立工科短大（1）▼京都府立大女短大2

計4名（1名）

（大学校）▼水産大学校（1）▼防衛大学校2

計2名（1名）

（私立大学）▼国際商科大（1）▼城西大（1）▼独協大1▼青山学院大（3）▼慶應義塾大2（1）▼工学院大（1）▼駒沢大（4）▼上智大1▼昭和大（1）▼成蹊大（1）▼成城大（2）▼流泉女子大（1）▼専修大（4）▼多摩美術大（1）▼中央大（1）▼東海大1（1）▼東京経済大1▼東京女子大（1）▼東京電機大（1）▼東京理科大（2）▼東邦大1▼東洋大（1）▼日本大（9）▼日本女子大1▼日本体育大1▼日本歯科大（1）▼岩手大1▼静岡大（2）▼名古屋大1